

## ▼青森市立小・中学校給食費の無償化 9億9,727万円

物価高騰による学校給食への影響が懸念されている中、保護者負担の軽減に向けて、令和4年10月1日から実施した市立小・中学校の児童生徒に提供する学校給食の無償化を令和5年度も継続し、子育て支援の充実を図ります。



## ▼あおもり桜マラソン開催事業 2,450万円

本市のスポーツ人口の拡大や、市民の体力向上及び健康増進につなげるとともに、マラソンを通じた交流促進による地域活性化を図るため、フルマラソンをメインとした「2023あおもり桜マラソン」を4月16日に開催します。

## ▼青森市民美術展示館移設事業 4億219万円

市民の文化芸術活動の活性化や駅周辺のにぎわいの創出を図るため、老朽化が進む青森市民美術展示館を、JR東日本が整備する駅ビルに移設する取組を進めます。

令和5年度：移設工事、令和6年度：供用開始（予定）



## ▼コミュニティ・スクール推進体制構築事業 231万円

「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を導入し、保護者や地域住民が、一定の権限と責任をもって学校運営に参画することで、目標やビジョンを共有し、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの豊かな学びと育ちの環境づくり、地域とともにある次世代の学校づくりを目指します。

新規設置校：4中学校区12小中学校

浪打中学校区、佃中学校区、荒川中学校区、新城中学校区

8中学校区27小中学校 → 12中学校区39小中学校

## ▼福祉館改築事業 1億8,079万円

青森市ファシリティマネジメント推進基本方針に基づき、施設機能の集約化や周辺既存施設との複合化などによる公共施設の老朽化対策に取り組みます。

- ・滝内福祉館（継続・改築）※令和6年4月供用開始予定
- ・造道福祉館（継続・設計）※造道小学校、消防団第6分団第1班、第3班機械器具置場と複合化



滝内福祉館



造道福祉館



## ▼新型コロナウイルスワクチン接種事業 7億3,664万円

新型コロナウイルスによる感染拡大及び重症化を予防し、まん延防止を図るため、引き続き、ワクチン接種を希望するかたが円滑に接種を受けることができるよう、必要な接種体制の確保や市民への周知・相談等を行います。

## ▼新型コロナウイルス感染症拡大防止事業 6億4,150万円

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に適切に対応するとともに、今後の感染拡大に備えた必要な相談等の体制を整えるほか、各医療機関で必要に応じて抗原検査等を受けられる体制を継続します。また、感染症予防対策を徹底するため、引き続き、市ホームページ等を通じて周知します。

やさしい街



▼障がい児保育事業 4,692万円

保護者の就労と子育ての両立の支援のため、心身に中程度の障がいのある保育の必要な児童を受け入れている保育所等へ、受入れに係る経費の一部を助成します。

【取組内容】

- ・医療的ケア児を受け入れ、医療的ケアに従事する看護師等を加配している保育所等への助成
- ・医療的ケアを行う「認定特定行為業務従事者」となるために必要となる研修の受講費用等の助成

▼医療的ケア児支援事業 246万円

医療的ケア児が医療的ケア児でない児童と共に教育を受けられるよう、学校において医療的ケアを行う看護師等を派遣するなど、市立小学校に在籍する医療的ケア児に対し、適切な支援を行うための体制を整備します。

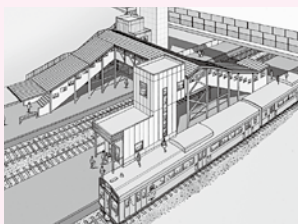
つよい街

▼青森駅周辺整備推進事業 1億591万円

青森駅周辺整備の推進を図るため、JR東日本等の関係機関と連携しながら、駅ビル内自由通路の整備（幅員約10m・延長約30m）を進めます。



※画像はイメージです



※画像はイメージです

▼浅虫温泉駅バリアフリー整備事業 1億4,601万円

浅虫地域の住民はもとより、浅虫温泉を訪れる高齢者や観光客など、誰もが安心して駅を利用できる環境を整備するため、駅施設におけるバリアフリー設備（エレベーター）の設置について、施設を所有する青森県と連携し、継続して工事を実施します（令和5年度末供用開始予定）。



▼除排雪対策事業 31億8,301万円

冬期間における道路交通の確保のため、除排雪事業実施計画に基づき、国、県、除排雪事業者及び町（内）会等との連携のもと、効果的・効率的な除排雪作業を実施します。

▼中新町山手地区第一種市街地再開発事業（補助金） 9億8,060万円

老朽化した中小小売店舗や飲食店舗、事務所等を共同化・集約化し、土地利用の高度化を図ることにより、魅力的な商業空間の形成と事務所やホテル、集合住宅を整備する事業を支援します。

かがやく街

▼青森市斎場建替事業 2,442万円

老朽化した青森市斎場を建て替えます。新斎場では、告別室及び収骨室、火葬炉前ゾーンと控室ゾーンを一つのユニットとし、各ユニットを分離配置することによるプライバシーに配慮した施設とします。

令和5年度 事業者の選定、設計（～6年度）

令和6～8年度 建設

令和8年10月 供用開始（予定）



※画像は現在の青森市斎場